

令和7年度  
きらめき活動助成事業  
助成金交付団体アンケート

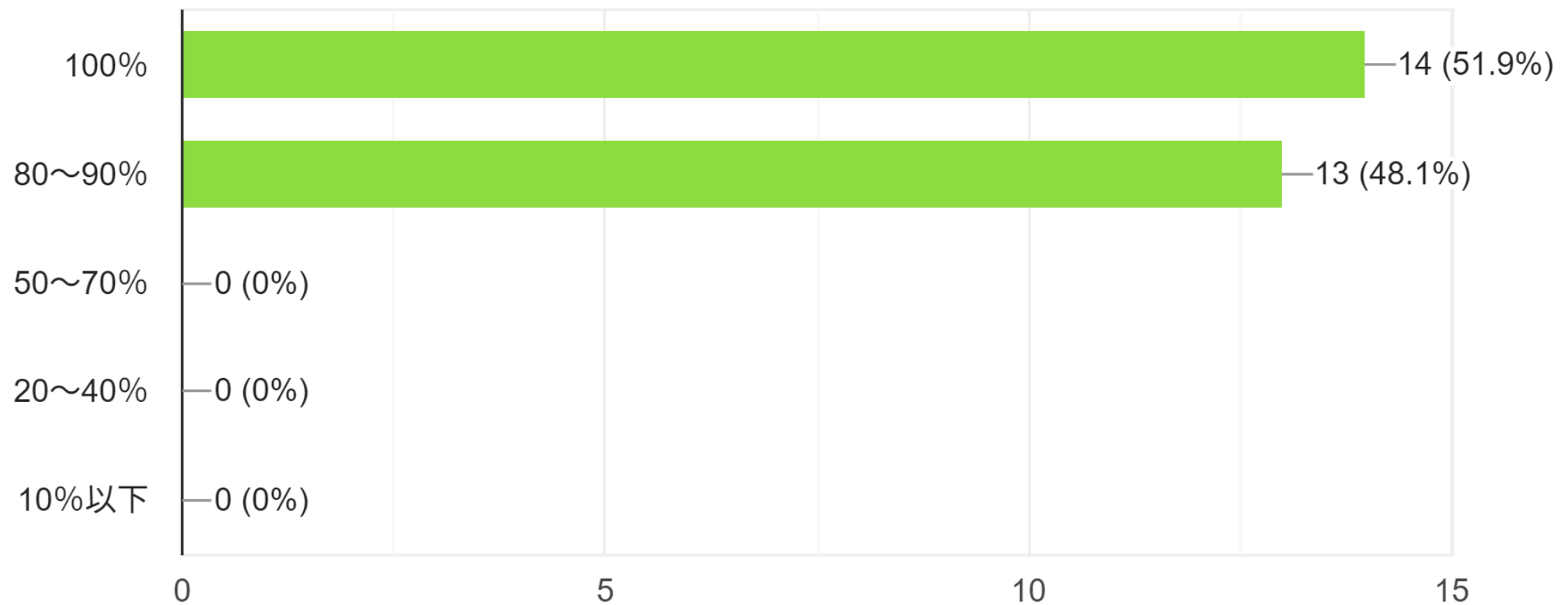
集計結果

回答27団体／交付39団体

回答率70%

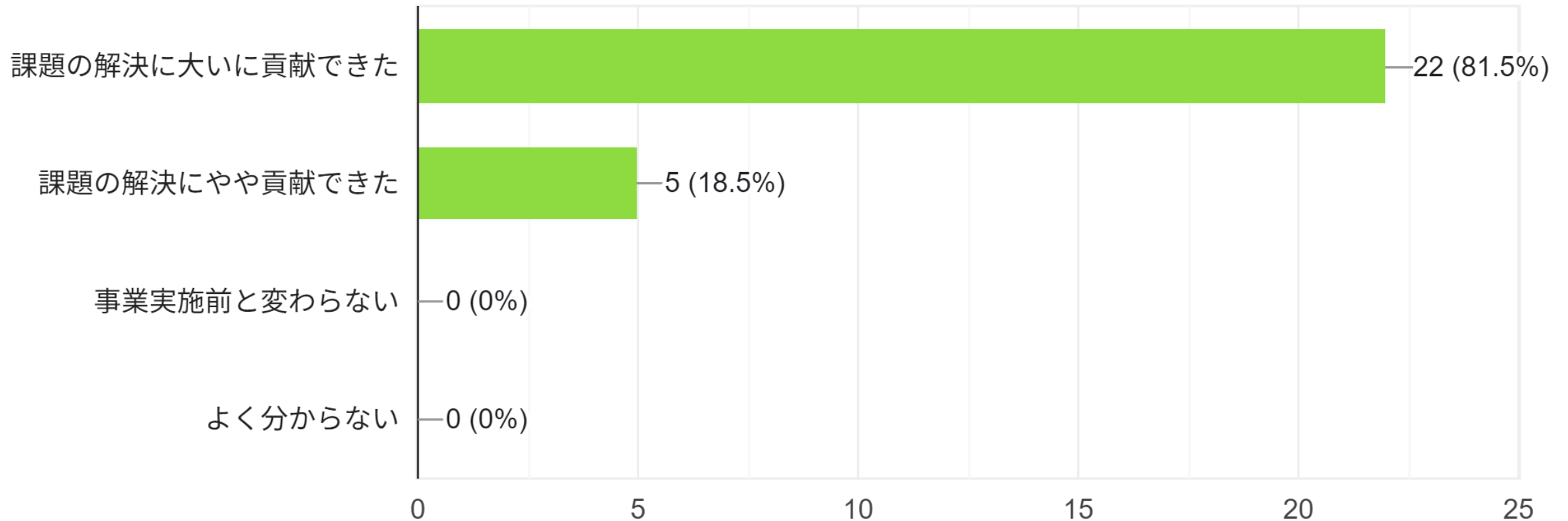
2026年6月

(1) 助成金を交付されて事業を実施したことによって、令和7年度の事業の**目的はどの程度達成**できましたか。



すべての団体が 8割以上達成した という回答でした

(2) 助成金を交付されて事業を実施したことによって、団体設立の目的(趣旨・理念)である**社会的な課題の解決**に対してはどの程度達成できましたか。



すべての団体が 地域の課題解決に対して貢献できた という回答でした

(2-2) 「貢献できた」とされるのはどのような理由からですか。

### 地域の活性化、 いろいろな人が 関る機会（協働） が生まれたから

- ・ 地域企業、学校、地域住民、店舗、福祉施設、個人など、幅広い主体が関わる取り組みが実現した。
- ・ 地域の老若男女が一堂に会して参加するイベントとなった。
- ・ 学校と地域のつながりが達成された。

### 子ども達の居場 所や体験活動の 場を構築・提供 できたから

- ・ 子どもたちがICTやAIなどのデジタル技術に触れてものづくりを楽しむ契機となった。
- ・ 親子で泥に入る田植えイベントや収穫祭を通じて、食と農への関心を育む機会を提供できた。

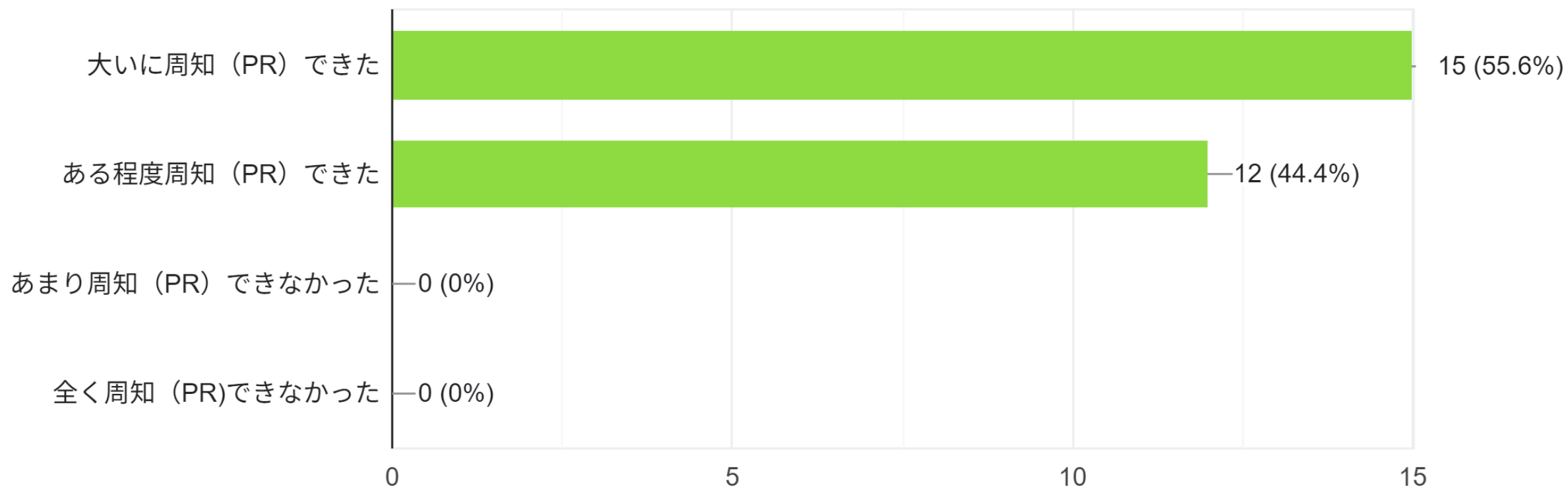
### 健康づくり、障 害者支援、依存 症の克服といっ た福祉課題に対 応できたから

- ・ 高齢者の健康維持や生きがいづくりの必要性を強く実感し、問題解決に貢献できた。
- ・ 薬物依存症者へ情報を発信し啓発できた
- ・ 受益者が思いを表現する場をつくることができた

### 地域に芸術を広 げた、 豊かな自然環境 を後世に引き継 ぐ取組が実践で きたから

### 団体の運営基盤 の確立や活動の 周知につながり 今後の活動に弾 みがついたから

(3) 助成金を交付されて事業を実施したことによって、地域の人たちや事業への参加者（事業の対象者含む）に対して、自分たちの団体や活動内容をどのくらい**周知（PR）**できましたか。

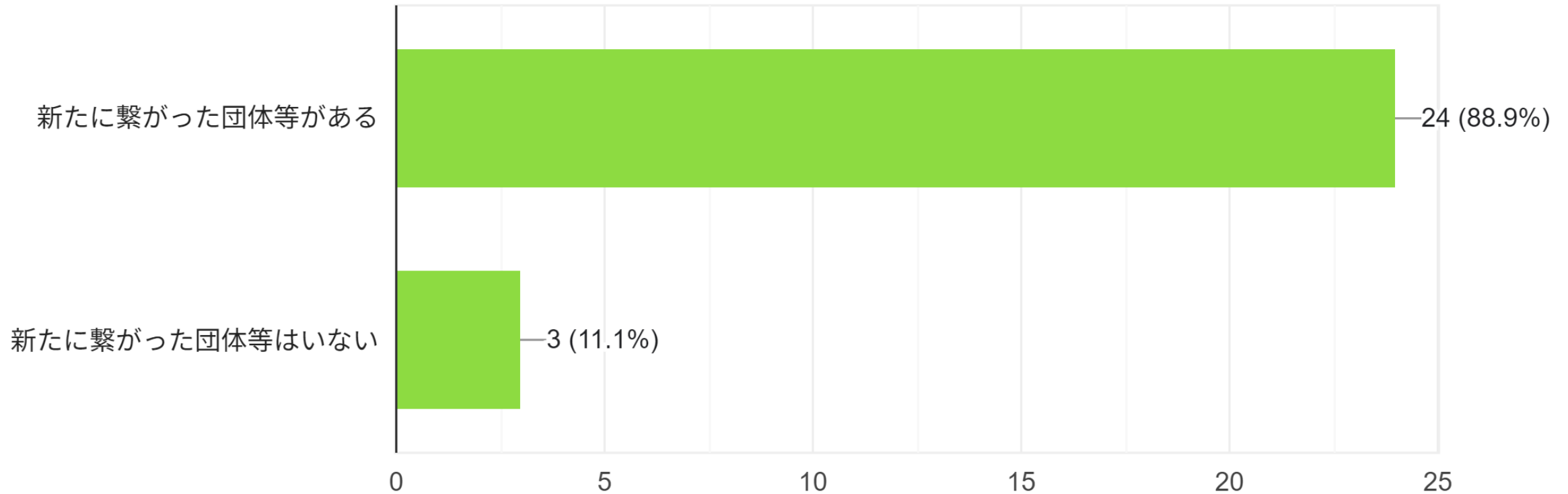


すべての団体が 周知できた という回答でした

(3-2) どのような**周知 (PR) 方法**が一番効果がありましたか。

1位	<b>口コミ・人のつながり</b> を通じた周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知人・日頃の交友関係を通じて…口コミに勝るものなし</li> <li>・人をつなげることに長けた人（キーパーソン）の協力やコーディネート</li> <li>・参加者や会員による周知活動、関わる人のネットワークがそのまま周知につながっている</li> </ul>
2位	<b>チラシ・ポスター</b> の配布掲示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の全小学校や図書館への配布が効果的</li> </ul>
3位	学校や行政機関、地域 <b>組織との連携・直接訪問</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会や行政、地元の自治会と連携することで、活動の「信用度」を高め協力を得られた (小学校、中学校、公民館、図書館、教育委員会、開催場所、自治会)</li> </ul>
4位	<b>マスメディア</b> （テレビ・新聞・ラジオ）での報道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ報道の影響大</li> </ul>
5位	<b>SNS</b> や <b>インターネット</b> （HP）での発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシとSNSでの発信の組み合わせが大きな効果をうんだ</li> <li>・Instagramでの動画・写真投稿が有効だった 公式Instagramは継続発信が大切！</li> </ul>
6位	会場の特性や関連イベント・成果物の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日会場へ別目的で来場した利用客へアピールした</li> <li>・イベント開催時に別イベントを告知 ・成果物の発刊</li> </ul>

(4) 助成金を交付されて事業を実施したことによって、新たな団体等（活動団体・行政機関・企業・学校・個人等）と**繋がる**ことができましたか。



約9割の団体が、活動によって新たなつながりが生まれた という回答でした

## (4-2) どのような団体と新たにつながりましたか。

### 他の県民活動 団体や個人・ 専門家

- ・子育て支援、福祉、文化芸術団体など
- ・活動のコラボが発生
- ・組織だけでなく、特定の技術を持ったプロフェッショナルや、個人からの応援も大きな財産となっている  
(→今後のイベントに出演してもらえる/寄付をしてもらえたなど)

### 行政機関

- ・市の健康増進課や教育委員会など、行政の公式な窓口とつながることで、活動の公認性や常設展示などの成果が得られた

### 学校・教育機関

- ・幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、特別支援学校等
- ・行事への参加だけでなく、学生ボランティアの派遣も容易になった

### 地域企業・店舗 ・民間事業者

- ・地元の企業や飲食店、キッチンカー、専門業者など、商業・経済活動を行う民間セクターとの新たな連携がうまれている
- ・キッチンカーの継続派遣や、音響や舞台づくりのノウハウを教えてもらえることも

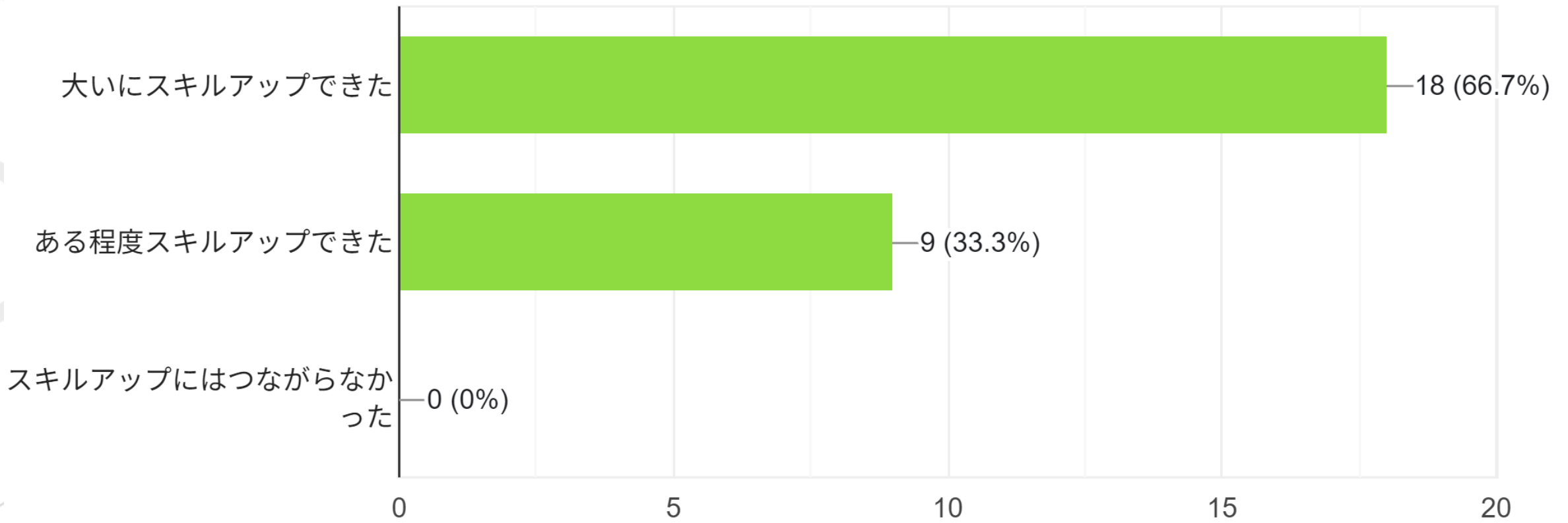
### 医療・福祉機関

- ・医療機関や福祉施設、子育てサークルなど、ケアや支援を必要とする人々を支える専門組織
- ・研修での講師を依頼することができた例も

助成金の交付式や中間報告会、交流会等につながりが生まれた、といううれしい報告もありました！



(5) 助成金を交付されて事業を実施したことによって、団体の運営や事業の実施に関して会員やスタッフ、ボランティア等の  
**スキルアップ**ができましたか。



全ての団体が **スキルアップができた** という回答でした

(6) 助成金を交付されて事業を実施した中で、一番印象的だったこと  
(参加者やスタッフの心情の変化、現場の声、地域の情勢、地域の課題  
解決に向けた機運の変化等) はなんですか。  
**エピソード**を教えてください。

■ **子どもたちの成長を実感した!**

日常では味わえない体験を通じて、子どもたちが驚くべき変化や成長を見せた

■ **多世代交流の中で地域住民の絆を再確認できた!**

活動をきっかけに、地域に忘れられかけていた賑わいや、世代・国籍を超えた温かい協力関係が復活した

■ **当事者やその保護者へ深い支援が行えた、エンパワメントができた!**

生きづらさを抱える人や、周囲に相談できずに悩む家族に寄り添い、救いとなることができた

■ **プロの招聘により伝統文化の継承ができた!**

助成金や人の縁を活かすことで、活動の質が飛躍的に向上し、次世代へ技術をつなぐ足がかりができた

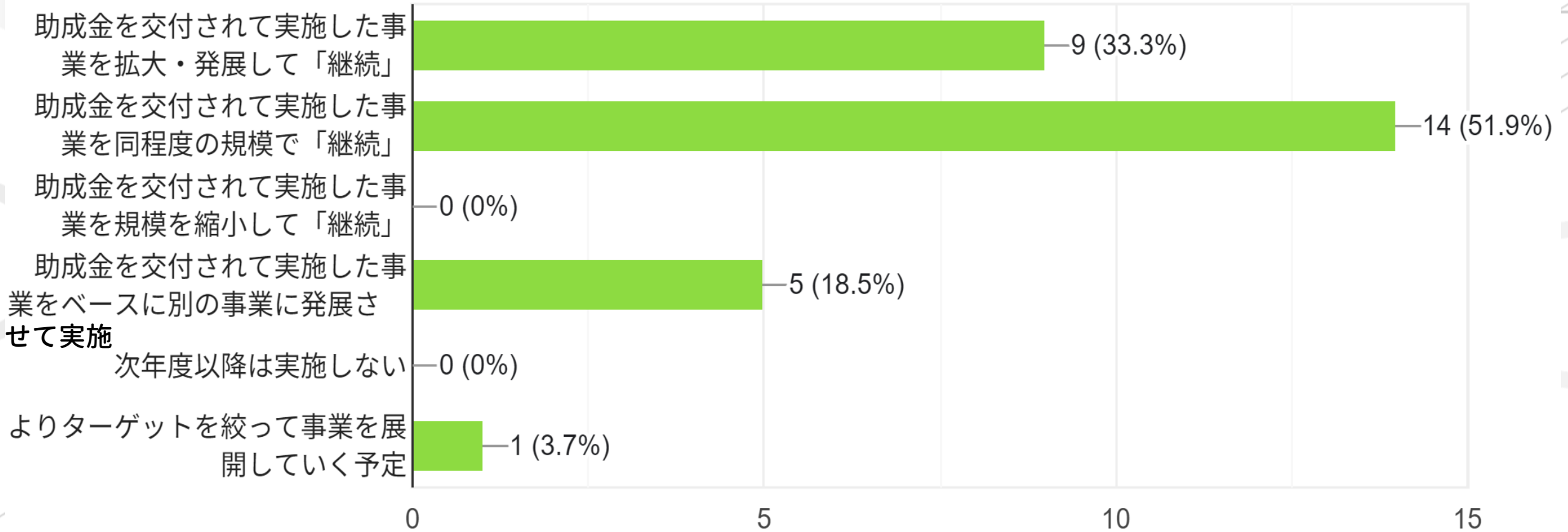
■ **助成金が会員へ意識改革とモチベーション向上をもたらしてくれた!**

資金的な援助を受けたことで、メンバーのやる気に火がつき、組織としてより自立でき成長できた

■ **周囲の「温かい心」に触れた!**

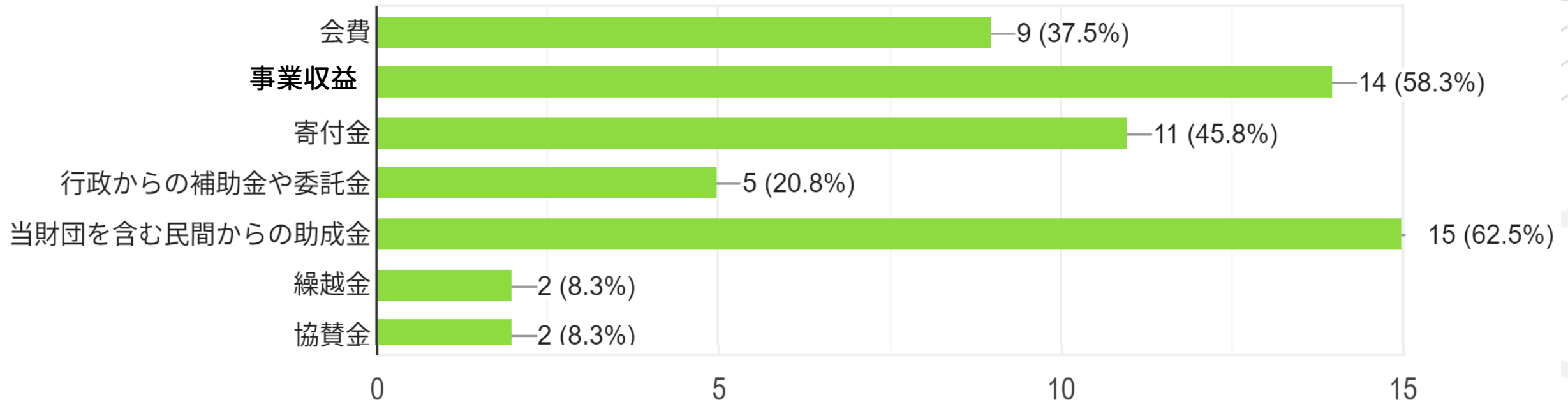
イベントの成功に向けて奔走する中で、周囲の人々が見せてくれた好意をうれしく思い、一体感を感じた

(7) 今回助成金を交付されて実施した事業について、次年度以降はどのように行われる予定ですか。



全ての団体が 何等かの形で事業を継続実施 していく予定

(7-2) 事業に充てる資金は今後どのように確保される予定ですか。  
(複数回答可/主なもの3つまで)

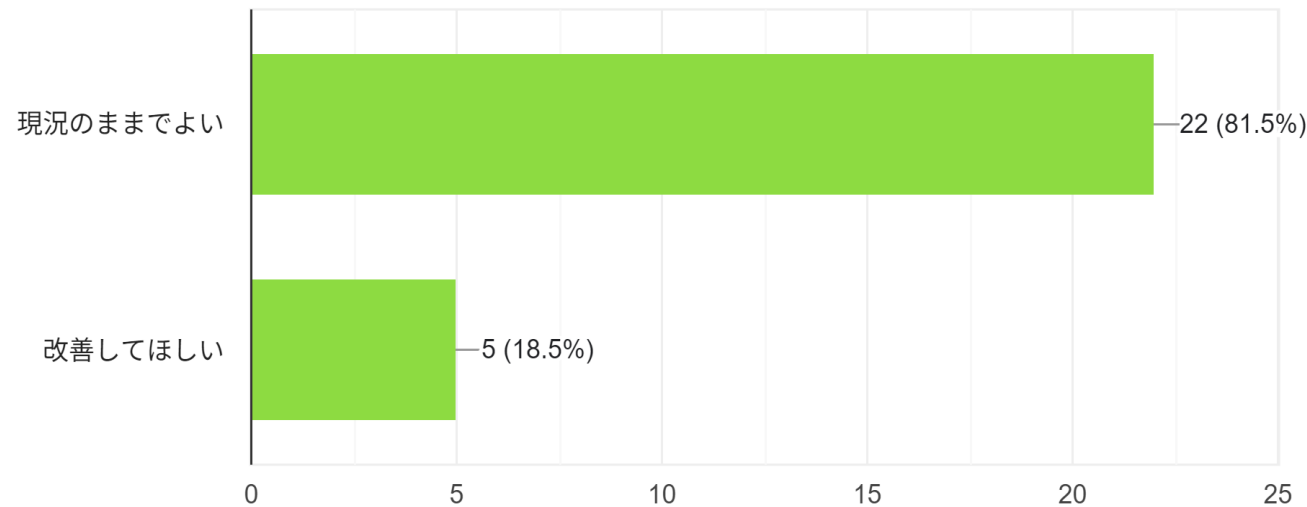


会費や事業の収益で事業費を担保しつつ、補助金や助成金等を検討されている団体が多いようです

### (1) 助成事業のスケジュールについて

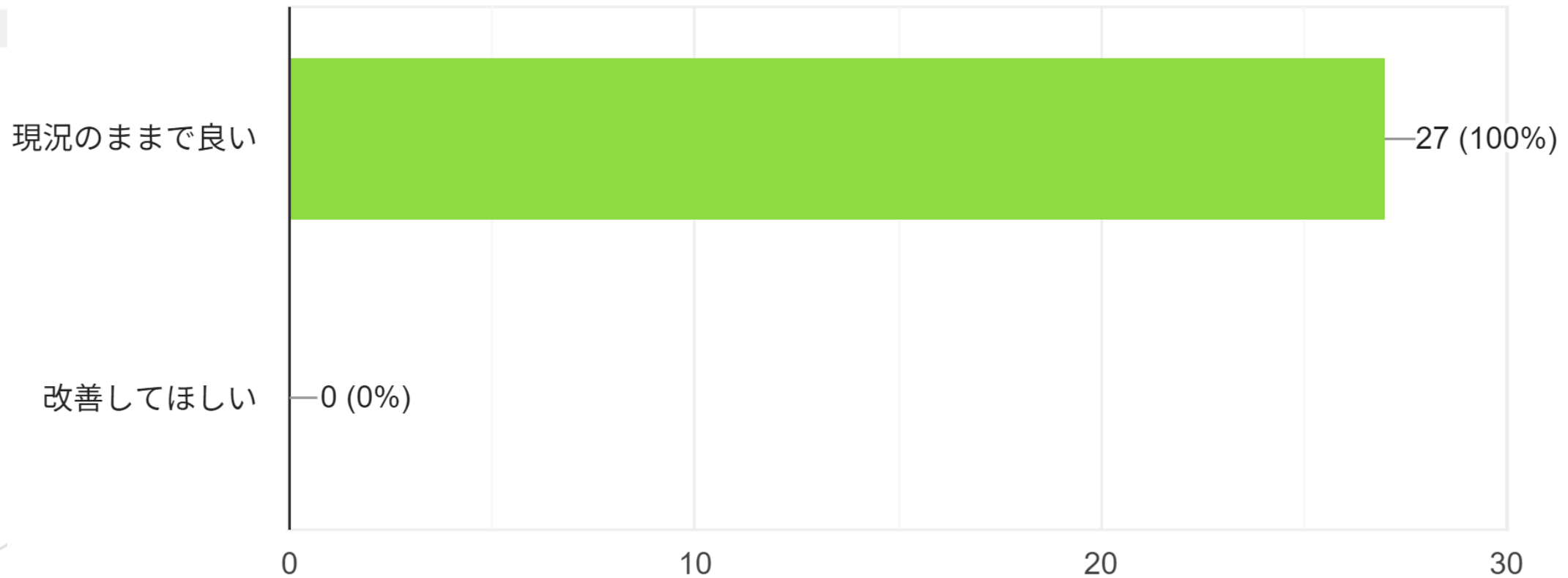
#### 〈 意見や要望など 〉

- 申請後から交付決定までの期間をもう少し短くしてほしい
- 事業年度が4月1日より始まるため、2月末までには助成金決定が欲しい。
- 実施事業の広報の兼ね合いからできれば4月に交付されるタイミングが良い。
- 5月に事業開催したいのももう少し早いと助かる。
- 助成金の交付を3回を上限にするのではなく、回数を増やしていただきたい→5年間に3回までという規定により対応済



概ね 現状のままでよい という回答でした

## (2) 助成事業の**上限額**について

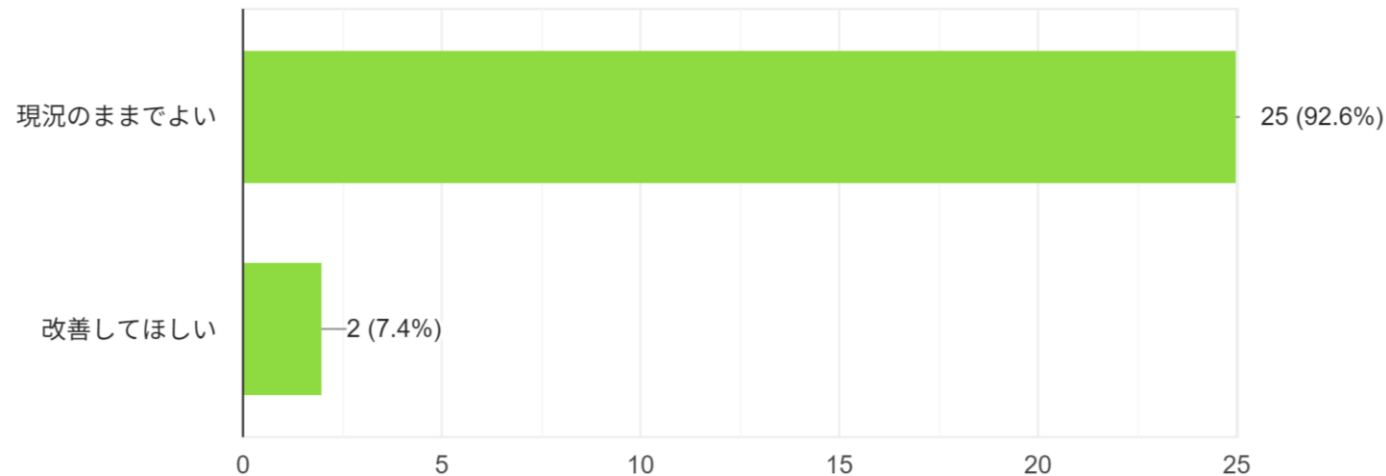


助成金の上限額については 現況のままで良い という回答でした

### (3) 助成金の**交付額**について

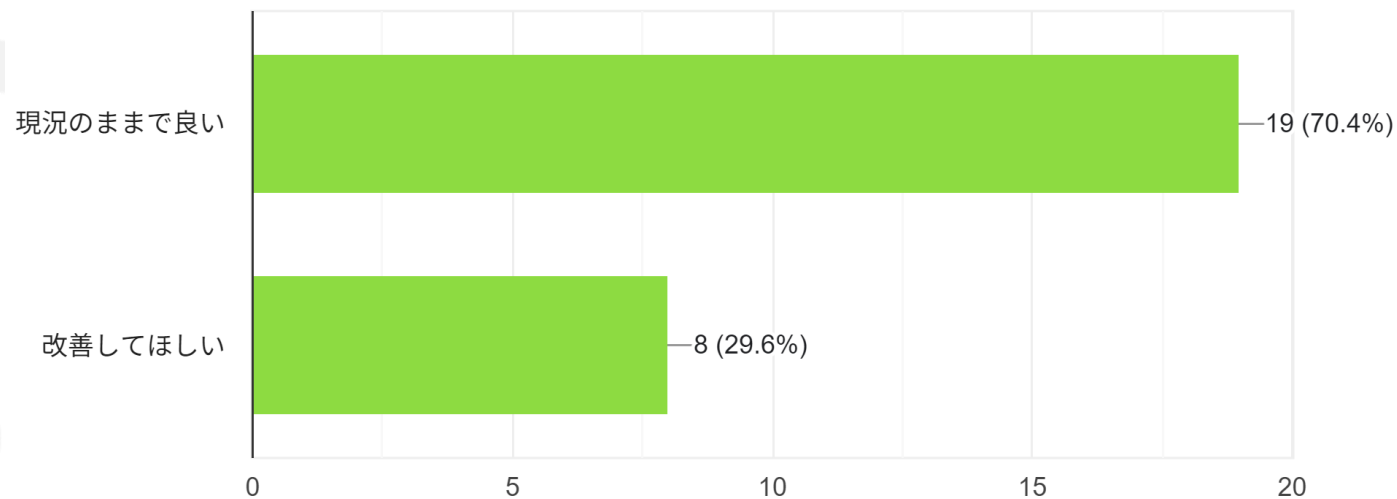
#### 〈 意見や要望など 〉

- 2/3の助成率は、残りの1/3が団体の負担になるため、事業収益が無いボランティア団体にとって利用しづらい。負担なしの全額助成（10/10）を希望。
- 当会の事業規模はそこまで大きくないため、助成金も少額となる。できれば交付率ではなく、交付額固定制（率をなくしたもの）なども検討いただけると事業全体額を賄うことができる。



概ね 現状のままでよい という回答でした

## (4) 助成金の**使途** (使いみち～対象となる経費) について



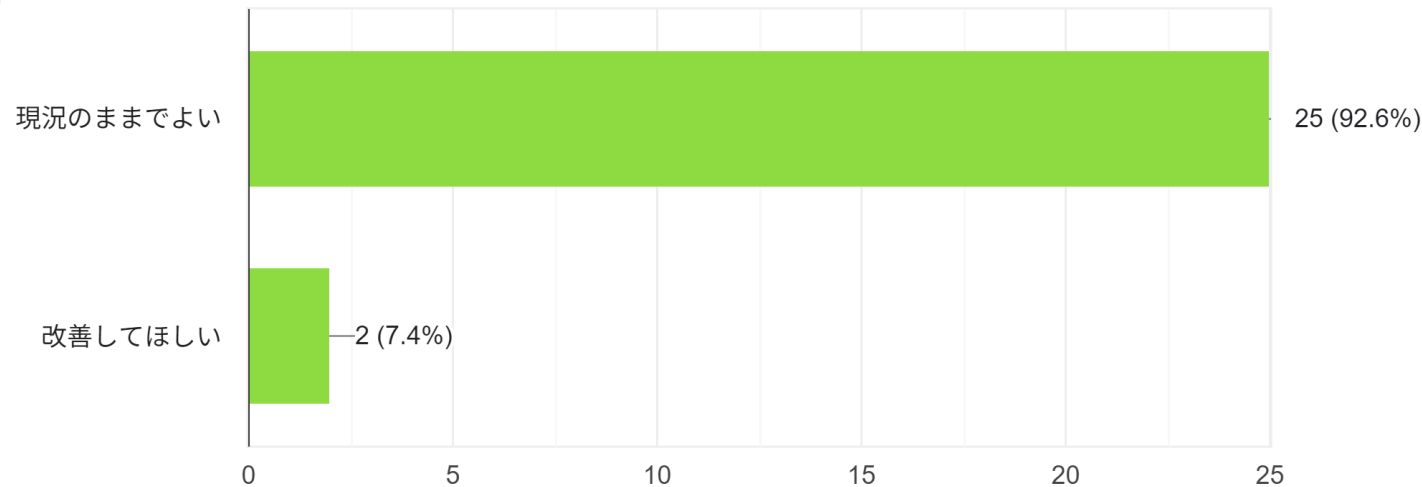
使途については 改善をのぞむ意見もありました

### 〈 意見や要望など 〉

- 最低経費（電気・水道・ガス・通信等）を対象としてほしい
- スタッフの経費も対象としてほしい／団体メンバーへの謝金なども上限を定めた上で対象としてほしい（団体としてメンバーを増やしたいが無償で働いてもらうのに後ろめたさがあり、メンバーを増やしていく）／スタッフの交通費を対象としてほしい
- 各団体の事業を聞き取りして、経費について柔軟な対応をしてほしい
- 農機具等の備品の修繕費を対象としてほしい

## (5) 申請書・報告書等の提出様式について

### 〈 意見や要望など 〉



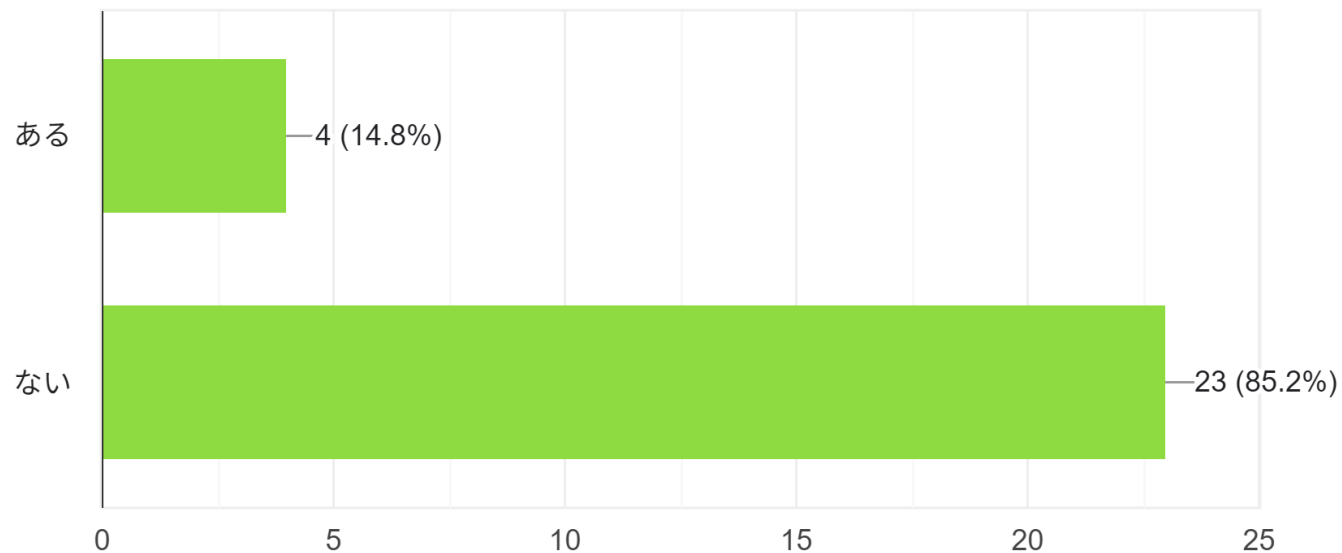
概ね 現況のままでよい という回答でした

- 領収書については原本が求められたが、一旦原本とコピーを提出し審査の後、原本を返却していただく、又は、「希望すれば返却していただけることを選択できる」とありがたい。

→既に対応済

- 電子化でメール送付できたらありがたい  
→文書や写真等についてはメールで受付しており対応済  
(領収書は原本のため郵送となる)

## (6) これまでの質問以外に**改善してほしいこと**

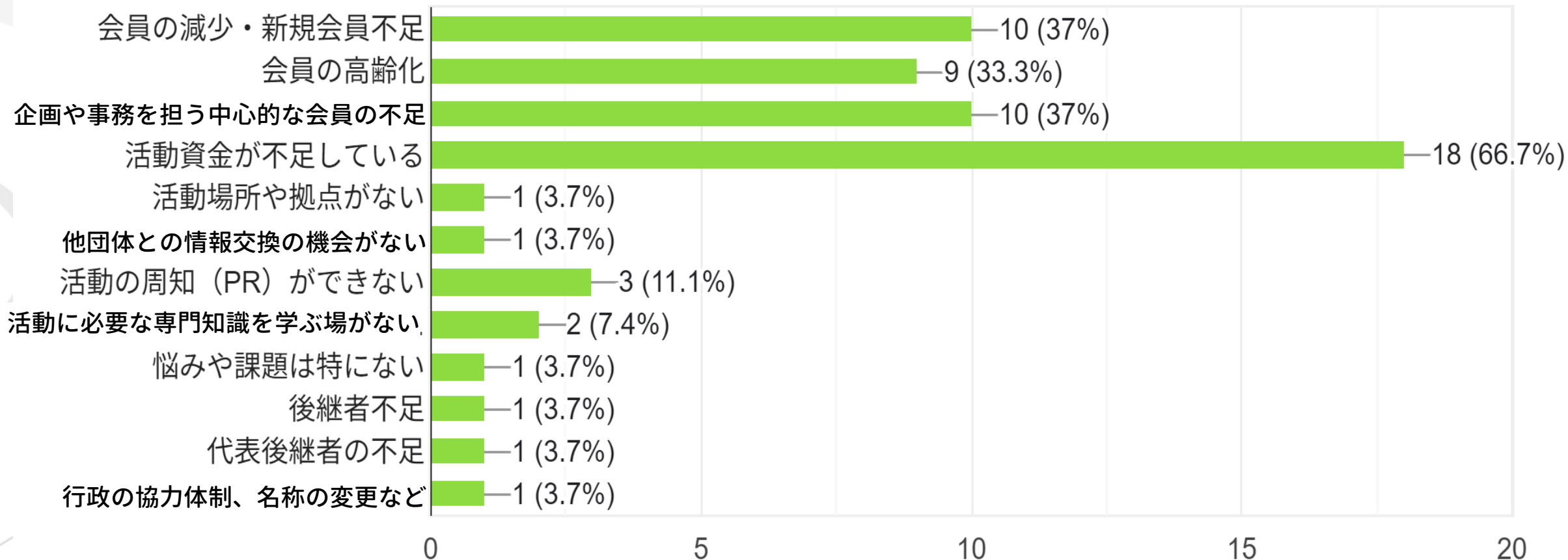


改善の要望が4件ありました

### 〈 意見や要望など 〉

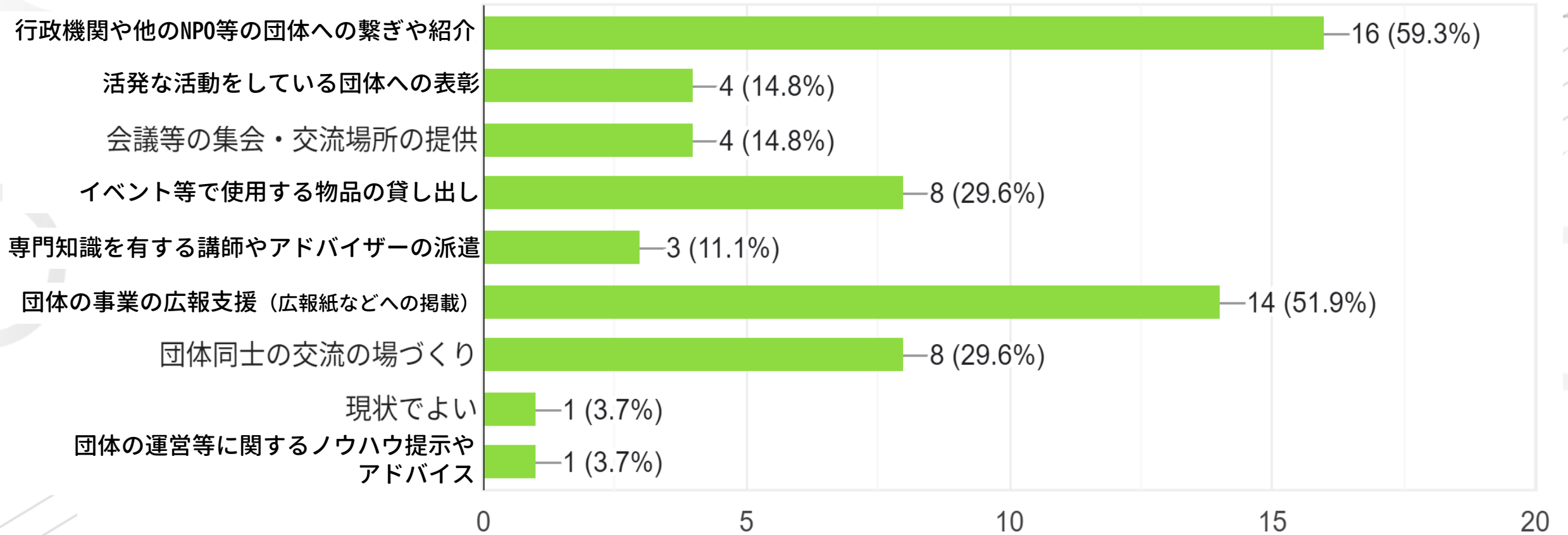
- 10/10助成のカテゴリをつくってほしい
- 交付決定通知が郵便で届くことを知らなかった。メールで通知してほしい
- きらめき財団ロゴのシールが欲しい
- アンケートについてはGoogleフォームで行ってはどうか  
→対応済

(1) 活動を行っている中で、**悩みや課題**と考えていることはどのようなことですか。



「活動資金の不足」を悩みとしている団体が多いようです。

## (2) 助成金以外に活動団体への支援として、財団に対して期待することはどんなことですか。



様々な機関、団体へのつなぎ役として期待されているようです

# まとめ (アンケートの結果から読み取れるもの)

## 【助成事業の成果】

- ① 事業目的および社会的課題解決への高い達成度  
→回答したすべての団体が、当初の事業目的を8割以上達成
- ② 社会的課題解決への貢献 →すべての団体が地域課題の解決に貢献できたと実感
- ③ 新たな協働・ネットワークの拡がり  
→約9割の団体が本事業をきっかけに新たなつながりが生まれたと回答
- ④ 団体内部のスキルアップとモチベーションの向上  
→すべての団体において、会員やスタッフ、ボランティアのスキルアップが実現

## 【活動団体の悩みと財団への期待】

- ① 団体が抱える悩み  
→「資金不足」「企画や事務を担う中心的な会員の不足」等、資金不足とマンパワー不足に悩んでいる
- ② 現助成事業の制度  
→現状の仕組みで概ね満足されつつも、申請から交付決定までの期間の短縮や4月からのイベントに対応できるよう前倒しのスケジュールを望まれる声もある  
→自主財源が少ない団体にとって自己負担(1/3)が重く、10/10助成や固定額制度としてほしい、メンバーやボランティアの確保のためスタッフへの謝金や交通費を助成対象としてほしい等の意見も
- ① これからの財団への期待  
→行政機関や他のNPO、企業等とのマッチングといった「ハブ」としての機能や広報とともに、現場の負担を減らすデジタル化等の助成事業の仕組みづくりが期待されている